

おおいずみ

No. 81

2018. 8. 10

発行／大泉町議会
編集／議会広報
編集委員会

議会だより



第3回議会報告会

主な内容

- | | |
|----------------------|-------|
| 6月定例会開催 | P 2～ |
| 7月臨時会開催・議案賛否一覧表 | P 3 |
| 町政を問う 一 般 質 問 | P 4～ |
| 議会報告会アンケートのご意見について | P 8～ |
| 議会報告会アンケート集計結果 | P 10～ |
| 議会トピックス・編集後記 | P 12 |

平成30年 6月定例会開催

高規格救急自動車の購入を全会一致で可決！

6月定例会

平成30年第2回定例会を6月12日(火)～14日(木)までの3日間の日程で開催しました。

教育委員会の委員の任命や町道路線の認定、財産(高規格救急自動車)の購入など、承認3件、議案4件について慎重審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問には、5人の議員が登壇し、安全・安心の町づくり、子どもの虐待・性犯罪等の被害防止対策、町の教育施策、子育て支援の拡充、子育て行政の取り組みなどについて質問しました。

詳しくは、会議録(町図書館)または、町ホームページ内の議会インターネット中継のページをご覧ください。

専決処分の承認を求めることについて

■承認第1号

大泉町町税条例の一部を改正する条

例

■承認第2号

大泉町都市計画税条例の一部を改正する条

例

■承認第3号

大泉町国民健康保険税条例の一部を改正する条

例

承認第1号～第3号までの専決処分を全会一致で承認

■議案第31号

教育委員会の委員の任命について

継続して「高倉圭子氏」に全会一致で同意

■議案第32号

大泉町町税条例の一部を改正する条

例について

■議案第33号

大泉町道路線の認定について

■議案第34号

財産(高規格救急自動車)の購入について

議案第32号～第34号すべて全会一致で可決

■議案第33号にて認定した路線の表示

路線名	起点	終点
2ブロック 町道 122 号線	城之内五丁目 1762 番 1	城之内五丁目 1763 番 2
2ブロック 町道 123 号線	城之内五丁目 1767 番 16	城之内五丁目 1767 番 15
2ブロック 町道 124 号線	城之内五丁目 1767 番 26	城之内五丁目 1767 番 28



町民の命を守る高規格救急自動車

平成30年第2回定例会、第3回臨時会 会議結果及び議案等関係賛否一覧表

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	採決結果
議員名	中尾大助	澁木茂	塚田義一	佐藤久芳	川島幸広	堀越幸広	須田敏彦	都丸裕史	宮永万里子	田邊信雄	山口将己	浅野正己	青木満	渡邊明彦	森昌彦	

平成30年 第2回定例会

承認	第1号	専決処分の承認を求めることについて（大泉町町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第2号	専決処分の承認を求めることについて（大泉町都市計画税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第3号	専決処分の承認を求めることについて（大泉町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
議案	第31号	教育委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第32号	大泉町町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第33号	大泉町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第34号	財産（高規格救急自動車）の購入について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員

平成30年 第3回臨時会

議案	第35号	大泉町福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第36号	工事請負契約（吉田大橋橋りょう維持補修工事）の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第37号	工事請負契約（西小学校校舎・（仮称）西児童館学童保育室複合施設増築工事）の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員

※「○」＝賛成（起立）、「●」＝反対、「―」＝欠席または不在

※議長は、採決に加わっていないため「/」で表示

※採決結果の「全員」「多数」は、可決成立（同意）を表す。「少数」は、否決不成立（不同意）を表す。

平成30年7月 臨時会を開催

平成30年第3回臨時会を7月25日(水)に開催しました。議案3件が上程され、慎重審議の結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

■議案第35号
大泉町福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について

■議案第36号
工事請負契約（吉田大橋橋りょう維持補修工事）の締結について

■議案第37号
工事請負契約（西小学校校舎・（仮称）西児童館学童保育室複合施設増築工事）の締結について



一般質問

一般質問の内容

質問者	件名・要旨
議席 2 番 澁木 茂 議員	1. 安全・安心の町づくりについて (1)防犯対策の推進について (2)犯罪率の低減について (3)防災行政無線システムの今後の活用について (4)町施設の災害対策拠点としての現状について (5)災害対策本部の考え方について (6)役場庁舎の今後の考え方について
議席 14 番 渡邊 明 議員	1. 子どもの虐待・性犯罪等の被害防止対策について (1)本町の現状と教育委員会の認識について (2)今後の児童虐待被害防止対策について 2. 「道の駅」の設置計画について (1)「道の駅」の設置計画の進捗状況について (2)「道の駅」設置の調査・研究について (3)本町及び広域での「道の駅」設置計画について 3. 町内中小商工業者への支援策について (1)大泉町独自の中小商工業者の支援策について (2)中小商工業者支援策の今後の課題について (3)各種補助金等制度の見直し及び拡充について
議席 1 番 中尾 大助 議員	1. 町の教育施策について (1)色覚異常の子どもたちへの対応について (2)子どもたちの様々な人たちとの交流について (3)東小学校の通学区域の見直しについて
議席 6 番 堀越 幸広 議員	1. まちの安全と秩序の安定について (1)現況の把握について (2)青色回転灯装備自動車による犯罪抑止効果について (3)地理的要因の把握について 2. 子育て支援の拡充について (1)現状の評価・検証について (2)今後の取り組みについて (3)福祉医療費助成制度の拡充について
議席 8 番 都丸 裕史 議員	1. まちづくりの推進について (1)次期総合計画の策定について (2)今後のまちづくりの方向性について 2. 子育て行政の取り組みについて (1)保育園、幼稚園等の施設における事故防止対策について (2)切れ目のない子育て支援の具現化について

※議会だよりへの一般質問の内容の掲載は 1 人 1 件までとなっています。その他の質問内容については、町ホームページもしくは図書館にある会議録でご確認ください。

町ホームページURL：<http://www.town.oizumi.gunma.jp/>

町政を問う!

Q 災害対策本部となる役場本庁舎の耐震基準は

A 40年以上経過し耐震基準を満たしていない



澁木 茂 議員

備のバックアップ設備を設置し備えています

町長

① 災害発生時、役場本庁舎が災害対策本部となりませんが、耐震基準を満たしていません。今後の対応についてお聞きします

② 災害直後より迅速な災害応急対策活動を開始する拠点となる役場本庁舎は、耐震基準をしっかりと満たした建物として作りあげておく必要があると思いますが、町長の考えをお聞きます

総務部長

① 役場の代替施設として、保健福祉総合センターにも防災行政無線の親局設

Q 中小商工業者へのさらなる支援を

A 今後も町独自の支援策を考えます



渡邊 明 議員

舗リニユーアル補助制度の継続と補助対象者の見直しと、併せて補助限度額等の拡充をお願いしたいと思いますが、町長の考えをお聞きます

町長

町民の生活を豊かにするために、中小企業が生きて活躍できる環境を国と力を合わせて築いていくのは町の責任です。

国の大企業優先で格差を広げる経済政策から多様な業種にわたる中小企業を広く支える政策への転換と、商店街は地域の住民にとって身近な購買先であり、地域の共有財産というべき存在です。

② 斬新なデザインであるがゆえに耐震補強は非常に難しくなっています。建設から40年以上経過し、耐震基準を満たしていないこともあり、近い将来、新庁舎の建設は必要であると考えます。



早期の対応を

空き店舗対策や店舗リニユーアル補助制度など、個々の店への直接補助を含めた支援策を現状に照らして拡充すべきです。



活気ある商店街に

店舗リニユーアル補助制度も3年という期限を決めています。延長の方向で検討するとともに、さらに使いやすく拡充していきます。

今後も大泉町独自のさらなる中小商工業者の支援の施策を考えていきます。

問 う !



未来を担う子どものために

Q 東小通学区域の見直しと今後の方向性は

A 地域住民の皆様の声を重視しながら検討する



中尾大助 議員

合、地域の理解が得にくい状況にあるかと思えます。教育委員会としての小学校の適正規模と通学区域の見直しの考え方について伺います。

教育長

東小学校の児童数が年々減少していることが目立ってきています。児童数が減ってしまうことにより学校運営、PTA活動などに支障が出てしまう可能性があります。

一方で、小学校は教育機関だけではなく地域コミュニティの二つの拠点でもあるので、一概に児童数が減ったからといって通学区域の見直しや統廃合になった場

統計上では、東小学校は2024年までは1学年2学級を維持できる見込みとなっておりますが、その先の将来については1学年1学級になる可能性も否定できず、その際には通学区域の見直しを検討しなければならぬと考えています。

しかし、学校は町づくりと密接に関係している施設でありますので、保護者の声、地域の声を聞き、情報を共有し十分な理解や協力を得ながら進めていくことが大切であると考えています。

Q 高校生世代の通院費についても助成を

A 非課税世帯の通院費補助を実施します



堀越幸広 議員

より充実した支援ができるかと思えます。地方行政の各事業では先進的な本町である今、他市町村の先駆けとしてさらなる拡充に向けての町長の取り組みをお聞かせください。

町長

本町の医療費助成制度は15歳を過ぎ18歳までの子どもに対しては入院費のみが対象ですが、不意なけがや病気などは通院費の助成により、早期に受診治療ができ、子どもたちの健やかな発育成長を助け、また急な出費による保護者への経済的負担を軽減することで、

高校生世代では現在、入院費のみの助成となっております。群馬県内35市町村では上野村だけが通院費を全額出している状況です。

しかし、経済的に厳しく病院に行かせてやれないという方もおり、手遅れになるけがや病気の悪化などもあります。

本来なら課税世帯までと考えますが、厳しい予算の中、まずは非課税世帯の通院費補助を即時実施したいと思っています。



町政を

Q 次期総合計画はどのような考えでいくのか

A 柔軟性をもった、次期総合計画にしたい



都丸裕史 議員

町長就任以来、町民に寄り添った施策を実行していただいています。現在の第五次総合計画は村山町長が町長就任前に策定されています。

次期総合計画は、町長の考える将来都市像や町の方向性がより示されると考えています。町長は次期総合計画をどのような考え方で策定するかお聞きします。

町長

現在の第五次総合計画においてはPDCAサイクルをまわして進めています。



町の方向性を決める総合計画

次期総合計画の内容について、将来に向けたまちづくりにおいては、今までどおりアンケートや住民ニーズを的確に捉えてその時期にあったものを進めていき、計画にない新規事業も必要性があれば、即効性を持って実施していきます。また、本町は企業の町であり、財政状況も景気に左右されるということがありますので、その時々財政状況にも対応できるように、柔軟性をもった次期総合計画にしていきたいと考えています。

みなさんからの 請願 はこうなりました

3件の請願について、審議の付託を受けた常任委員会で審議を行いました。

審議結果 .. 継続審査

請願第1号

若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める請願

【理由】

引き続き調査研究を要する

【請願者】

全日本年金者組合群馬県本部

執行委員長

館林邑楽支部

支部長

田村照代

【紹介議員】

渡邊

明・堀越幸広

請願第2号

年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願

【理由】

引き続き調査研究を要する

※請願者・紹介議員は、請願第1号と同一

請願第3号

地方財政の充実・強化を求める請願

【理由】

引き続き調査研究を要する

【請願者】

日本労働組合総連合会

群馬県連合会

館林地域協議会

議長 間中陽一

【紹介議員】

都丸裕史・佐藤久芳

アンケートのご意見について

議会報告会を開催しました。
加いただき、ありがとうございました。
を参考に、開かれた議会を目指します。



※質問内容は原文のまま掲載しています。

総務文教 常任委員会

Q 外国籍の町民皆さんとコミュニケーションをどうするか。区の活動にどのような方法で巻き込んでいくのか非常に難しい（カルチャーに各々の長い伝統があり、日常生活の中で対応の難しさがある）。

A 日本の習慣やルール、マナーを身につけてもらうために多文化共生懇談会の開催や文化の通訳登録事業を進め、日本語が十分でない外国人とのパイプ役を育成しています。また、地域コミュニティとしては子どもたちの繋がりを有効活用し、親と親を繋げる取り組みを進めます。

Q 多文化共生は大泉町の原点であり、議会でも真剣に取り組んでほしい。日本語が使えなくても不自由をしない大泉町となっているとのテレビ報道があります。どのよう評価すべきか迷っています。日本語を使わない町民が増加することに危機感を抱いています。

A 多文化共生の本質は、互いを認め合い、協力し合うことにあります。日本語が話せない方には、日本語を学ぶ機会の提供もしています。

Q 消防団をはじめとした防災関連の充実に力を入れてほしい。

A 防災行政無線の充実や地震ブレイカー設置補助金、防災フェアの開催、自主防災組織への支援などを行っています。さらに充実した施策を提言していきます。



町民を守る消防団

Q 行政区の人口格差が大きくなっています。行政区の再編成の検討をお願いします。最小50世帯弱、最大1500世帯は異常。町は地域の課題ととらえてますが……。

A 人口の偏りは認識しています。未来を見据えながら、再編の議論をしていくべき案件であると考えます。

民生産業 常任委員会

Q いつも大変お世話になり、まことにありがとうございます。今後とも何卒よろしく願いいたします。高齢化です。老人クラブをよろしく願います。

A 高齢化が進む中、今後ますます「元気な高齢者」の活躍が期待されているところです。老人クラブも含めた、団体・個人へのさらなる支援を調査・研究していきます。

Q 大泉町民の方は、館林厚生病院より太田方面の病院へかかる方が多いと伺っております。病院行政は太田へシフトするのでしょうか。また、蜂谷病院の今後の展開は。

A 町民の皆さんが安心して医療を受けられるよう、医療対策事業に取り組んでいます。町の医療体制全般にかかわりますので、慎重に調査をして、今後も町民の皆さんが必要とする医療資源が確保できるように努めていきます。

Q ヤマダ電機の南付近の川の中、冬の期間に清掃しないと相当な費用がかかるのでは。

A 七カ村用水路改修事業終了後から町が維持管理を行っています。平成29年度は冬季に草刈りを実施しました。平成30年度は、渇水時期に草刈りとともに堆積土の除去を実施する予定と、担当課より説明を受けています。



整備が望まれる七カ村用水路

Q 現状ごみ集積所について困っていることがあります。特に燃えるごみの日に燃えないごみが出されている。また、カラス防護ネットを掛けないで出していく人もいるため、カラス・猫などが残飯の入りたごみ袋を破り周辺の道路にごみを散乱させており、近隣の住民は大変迷惑しています。

【提案①】 燃えるごみステーション全か所に監視カメラを設置し、違反者を特

第3回議会報告会

5月21日(月)大泉町公民館ホールにおいて、平日の夜にもかかわらず、多数の方にご参
これからも参加者からいただいたご意見



定できるようにする。同時に条例で罰則を設ける。お金がかかることなので、何か年か計画で取り組む必要がある。

【提案②】アパートの場合は条例をつくり、アパート単位でボックス型の燃えるごみ容器を設置させる。これらもお金がかかることであるが、先進地もあるので調査研究課題として視察してみてもらいたい(議会として)。

これらの案により、ごみ散乱などによる環境問題の解決、または少しでも良い環境となるようご尽力をいただきたいと思えます(住んで良かった大泉町になるよう)。

A ①ごみステーションが、町内に約900カ所あり、すべてに監視カメラを設置するとと管理やプライバシー保護の問題などがあります。近隣の市町の状態をみながら調査・研究を行っていききたいと考えます。

②アパート専用のごみ収集ボックス設置ですが、アパートの開発者が事前に地域の生活環境委員と協議を行い、必要に応じて開発者のごみ収集ボックスなどを設

置および管理をしています。



マナーを守ろう

Q 子ども達の格差が大きいので、困る人がスポーツ・塾などに行けない。

A 経済的な困難を抱える家庭の児童・生徒に対する支援に取り組んでいます。具体的には、金銭面での支援として、就学奨励金の支給やひとり親家庭への児童扶養手当の支給も行っています。

また、学習面の支援として、長期休みや試験前など必要に応じて補習を行うほか、不登校対策としてスマイル教室や適応指導教室を実施しています。

学校以外でも、各児童館における学童保育で学習サポート事業に取り組んでいます。また、生活に困窮している保護者に対しての就労支援や、県の事業では中学生を対象とした生活・学

習支援事業にも取り組んでいます。

Q 寄木戸地区の道路整備。都市計画の地域バランス。消防車が入れないような道路で生活者をどのように守っていただけるのか問いたい。

A 寄木戸地区は昭和46年に区画整理推進協議会が設立され、その後準備委員会が立ち上がりました。しかし、地価下落、少子化などに伴い住宅需要が見込めないとの判断により、平成14年に解散し現在に至っています。

現状では、土地区画整理は難しい状況です。狭あい道路については、課題として認識しています。必要に応じて調査・研究を行っていききたいと考えています。

なお、平成30年度は西中学校北側付近の道路拡幅工事を実施する予定です。



整備が求められる町道

その他のご意見 (抜粋)

- ◆ 回を重ねるごとに内容が良くなっていくように感じます。各議員が自信を持って報告している様子に安心感を覚えます
- ◆ 大泉町版ネウボラを推進してほしい
- ◆ 今後も議会活動について大いに期待いたします
- ◆ 参加させていただき、議会にどのような組織があるか良く分かりました。また、委員会の主な活動について説明をいただき、勉強になりました
- ◆ 育児・教育(いじめ・自殺を出さない)は最重要課題のひとつ
- ◆ 防犯カメラを各所に設置をお願いしたい
- ◆ 西邑楽地区全体(3町)の潜在的な活力を、再構築、次世代への伝承が急務

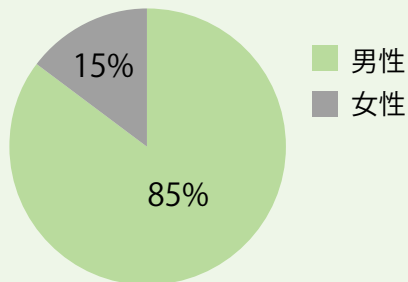


貴重なご意見
ありがとうございました

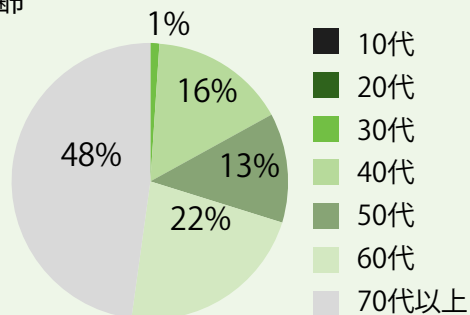
第3回議会報告会アンケート集計結果

アンケートを提出してくれた参加者

■ 性別

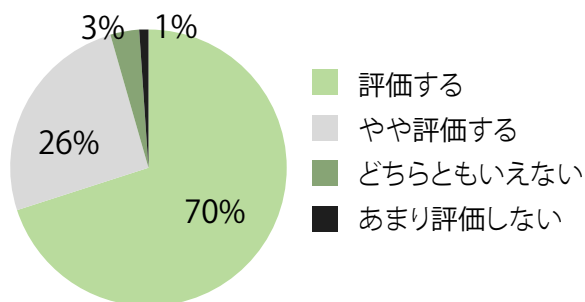


■ 年齢



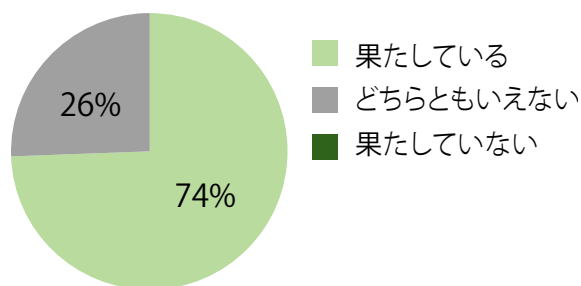
■ 議会報告会について

(1) 開催したことの評価

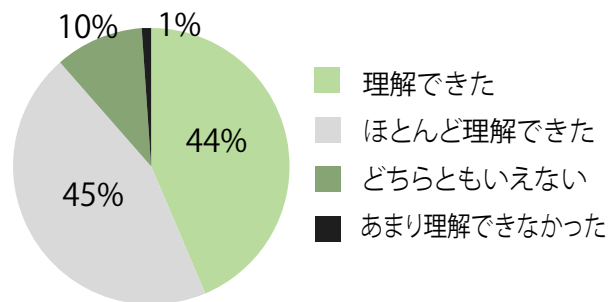


■ 大泉町議会の現状について

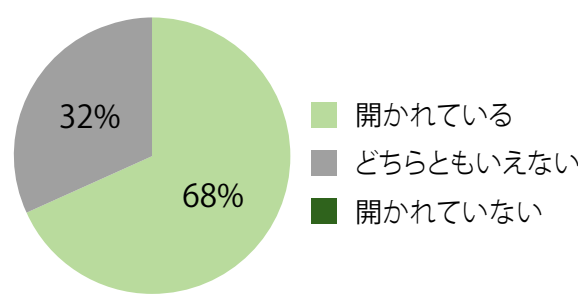
(1) 議会の役割を果たしていますか



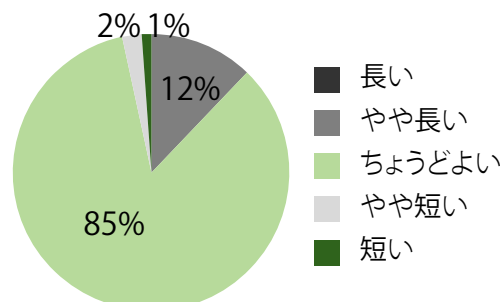
(2) 内容について



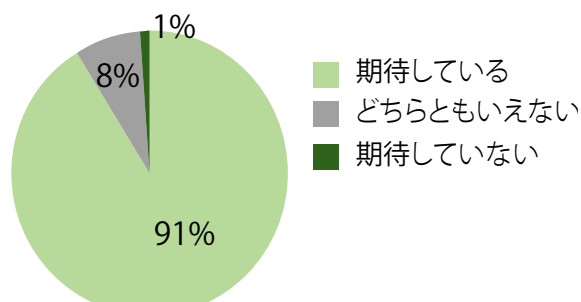
(2) 開かれた議会について



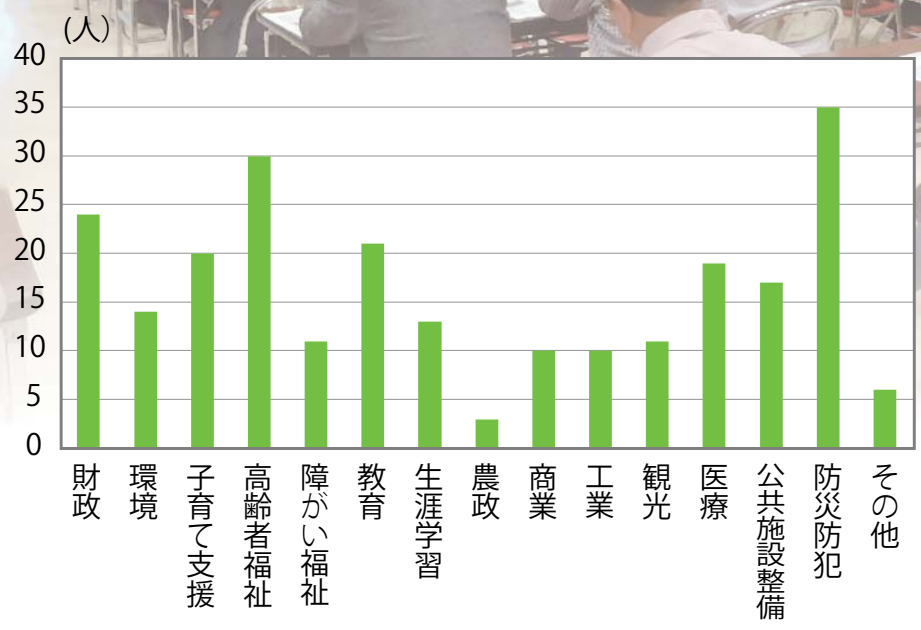
(3) 時間について



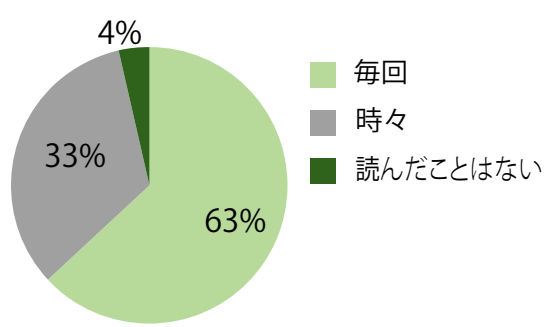
(3) 議会への期待について



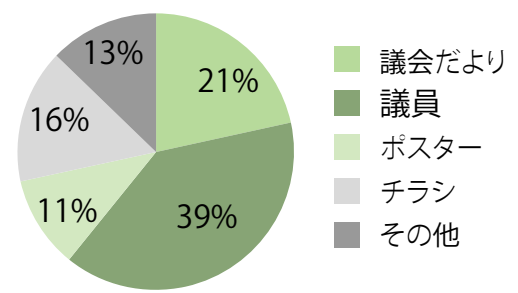
■ 町政のどの分野に興味がありますか（複数回答）



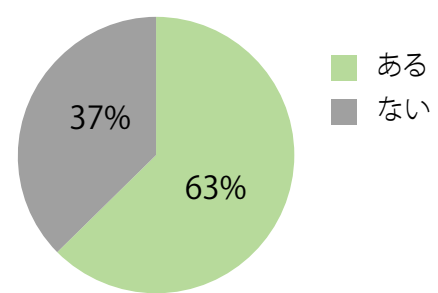
■ 議会だよりを読んでいますか



■ 議会報告会を何で知りましたか（複数回答可）



■ ホームページで議会情報を見たことがありますか



■ 参加者数	103 人
■ アンケート提出者数	94 人
■ アンケート回収率	91.3%

議会トピックス

議会運営委員会 研修視察

平成30年 7月10日(火)～12日(木)



喬木村議会



松本市議会

- 視察先：長野県駒ヶ根市・下伊那郡喬木村・飯田市・松本市
- 視察内容：議会運営について

議会改革・常任委員会のあり方・開かれた議会について、町民のための議会をめざして、調査研究してきました。

お知らせ

次回の定例会は

9月4日(火)

午前10時～

予定しています

お問い合わせ ☎ 63 - 3111
内線 451

みなさん議会傍聴に来てください

役場4階の議会傍聴受付にお越しください。
受付簿に住所・氏名・年齢をご記入いただくと傍聴できます。
議会日程は町ホームページでお知らせしています。

議会だより・会議録がホームページで見られます。

<http://www.town.oizumi.gunma.jp/>

編集後記

「男性は料理が下手」、「高齢者はパソコンが苦手」、「外国人はマナーが悪い」など、取り立てて根拠のない発言や考え方をしてしまうことがあると思います。

こういった自分自身が気づいていない無意識の物の見方・考え方の歪みや偏りは「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」と言います。

大泉町は約45カ国ほどの国籍の方が暮らす多文化の町であり、今までに経験のない文化に触れたとき、ネガティブに感じてしまうこともあります。

そんな時は相手に対して無意識の偏見を持っているということに気づいたうえで接してみると、何かが変わるかもしれませんね。

佐藤久芳

■議会だより文責

【編集委員】

委員長	青木 満
委員 長	須田 敏彦
副委員長	中尾 大助
委員	澁木 茂
委員	塚田 義一
委員	佐藤 久芳
委員	川島 幸広
委員	堀越 幸広



この広報紙は、自然保護のため再生紙とベジタブルインキを使用し作成しています。